AWS1 実習09-0別紙　EBS(ラボ4)用 踏み台サーバの作成

クラス　sk3a　　No. 04 氏名 文家俊

**※この実習は、必須ではありません。現状、この実習を実施しなくても、ラボ4は実施できると思います。余裕があれば実施してください。**

□はじめに

　ラボ4の実習は、Tera Termではなく、EC2 Instance ConnectでEC2に接続しています。以前は、AWSのラボからダウンロードしたキーを使用してもTeraTermからSSH接続できなかったため、踏み台サーバ経由でのアクセスが必要でした。

□構築する環境

　・EC2　1台・・・踏み台サーバ

1.キーペアを作成しなさい。

　名前：クラス名　タイプ：ED25519 形式：pem

2.EC2を作成しなさい。

　名前とタグ：クラス名番号\_bastion 　AMI：Amazon Linux 2023 AMI

　インスタンスタイプ：t2.micro キーペア：クラス名

　VPC：デフォルト　サブネット：us-east-1aのもの　　パブリックIPの自動割り当て：有効化

　セキュリティグループ：クラス名番号\_sg 説明：クラス名番号\_sg インバウンドルール：そのまま（ssh）

3.インスタンスが作成できた確認しなさい。　【　確認できた　・　確認できない　】

□接続確認と準備

1.作成したEC2インスタンス(クラス名番号\_bastions)のパブリックIPⅤ4アドレス：[ ]

2.Tera Termで確認したアドレスに踏み台サーバにアクセスしなさい。[　確認できた　・　確認できない　]

　＊キーはクラス名.pem ユーザ名：ec2-user

テキスト

自動的に生成された説明

3.ラボ4の「Details」の「show」をクリックして、鍵をダウンロード(Dowload PEM)しなさい。

4.3でダウンロードしたキー(labuser.pem)をEC2にアップロードしなさい。

　　＊Tera Term上にドラッグ&ドロップしてSCPで転送する。

5.EC2でlsコマンドを実行して、labuser.pemファイルがあるか確認しなさい。[　確認できた　・　確認できない　]

6.sudo chmod 400 labuser.pemで権限を変更しなさい。

7.LabインスタンスのパブリックIPv4アドレスを確認しなさい。[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

8.ssh -i labuser.pem ec2-user@IPアドレスでLabにアクセスできる確認しなさい。

　次のようなメッセージが表示されるので「yes」と入力する。

|  |
| --- |
| The authenticity of host '34.228.18.101 (34.228.18.101)' can't be established.  ED25519 key fingerprint is SHA256:7BVvD+uYF0sWOHGzLNChj6ervVIdEG4rNX49weRzOK8.  This key is not known by any other names  Are you sure you want to continue connecting (yes/no/[fingerprint])? |

[　確認できた　・　確認できない]